

一般選抜前期（1日目）

数 学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（場合の数と確率）、数学B（数列）、数学C（ベクトル）

【出題方針】

本学一般選抜前期（1日目）の数学では、高等学校数学の標準的な内容を題材に、基礎事項の理解が確実であるかを確認します。あわせて、基本的な考え方や公式を正確に用い、与えられた条件を整理したうえで適切に処理できる力を総合的に評価します。各分野に共通して、基本的な手法を用い、無理のない論理展開で結論を導く過程を重視します。これらを通して、本学での学修に必要な数学的基礎力、論理的思考力、数量的処理能力を判定します。

【高校の学習で大切にしたいこと】

- 教科書を繰り返し読み、定義と基本的な考え方を理解してください。定理を自分で証明したり、教科書の問題を確実に解いたりできることが大切です。グラフや図を描きながら学ぶことを勧めます。
- 基礎的な問題は、教科書の例題と章末問題に丁寧に取り組みれば十分に解けます。まずは例題を理解し、章末問題（応用問題を含む）まで粘り強く解き切ってください。
- 問題文をよく読み、内容を正確に理解することが前提です。数学では拾い読みが通用しません。日頃から条件や問われていることを整理し、意味を確認する習慣を身につけてください。
- 計算力を高めるとともに、教科書の各項目のつながりを意識して学んでください。そのうえで、基本事項を適切に組み合わせて、応用問題に取り組むことが望まれます。
- 自分の考えや計算の流れを相手に正しく伝えることを意識して、解答には数字や記号、途中式を書き、見やすく丁寧にまとめる習慣を身に付けてください。

【2026年度 出題内容・出題形式・合計得点・試験時間】

出題内容	出題形式	合計得点	試験時間
1 2次方程式、不等式、対数関数・指数関数	記述式	100 点	50 分
2 微分法と積分法（2次関数）			
3 ベクトルと平面図形			

【出題の意図】

- 1 (1) 2次方程式の解と係数の関係に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。
- (2) 絶対値を含む不等式に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。

(3) 対数関数・指数関数に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。

2 (1) 微分法と積分法(2次関数)に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(2) 放物線と直線で囲まれた図形の面積に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

3 (1) 余弦定理に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(2) ベクトルと平面図形における線分の長さに関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

一般選抜前期（2日目）

数 学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（場合の数と確率）、数学B（数列）、数学C（ベクトル）

〔出題方針〕

本学一般選抜前期（2日目）の数学では、高等学校数学の標準的な内容を題材に、基礎事項の理解が確実であるかを確認します。あわせて、基本的な考え方や公式を正確に用い、与えられた条件を整理したうえで適切に処理できる力を総合的に評価します。各分野に共通して、基本的な手法を用い、無理のない論理展開で結論を導く過程を重視します。これらを通して、本学での学修に必要な数学的基礎力、論理的思考力、数量的処理能力を判定します。

〔高校の学習で大切にしたいこと〕

- 教科書を繰り返し読み、定義と基本的な考え方を理解してください。定理を自分で証明したり、教科書の問題を確実に解いたりできることが大切です。グラフや図を描きながら学ぶことを勧めます。
- 基礎的な問題は、教科書の例題と章末問題に丁寧に取り組みば十分に解けます。まずは例題を理解し、章末問題（応用問題を含む）まで粘り強く解き切ってください。
- 問題文をよく読み、内容を正確に理解することが前提です。数学では拾い読みが通用しません。日頃から条件や問われていることを整理し、意味を確認する習慣を身につけてください。
- 計算力を高めるとともに、教科書の各項目のつながりを意識して学んでください。そのうえで、基本事項を適切に組み合わせて、応用問題に取り組むことが望まれます。
- 自分の考えや計算の流れを相手に正しく伝えることを意識して、解答には数字や記号、途中式を書き、見やすく丁寧にまとめる習慣を身に付けてください。

〔2026年度 出題内容・出題形式・合計得点・試験時間〕

出題内容	出題形式	合計得点	試験時間
1 2次不等式、三角関数、指数関数と2次関数	記述式	100点	50分
2 微分法と積分法（3次関数）			
3 場合の数、確率			

〔出題の意図〕

- 1 (1) 2次不等式の解と係数の関係に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。
- (2) 正弦定理・余弦定理に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。

(3) 指数関数、2 次関数の最大・最小に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。

2 (1) 3 次関数の極値に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(2) 絶対値を含む 3 次関数の最大値および最小値に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

3 (1) 場合の数に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。

(2) 確率に関する基本的理解と、それを踏まえた応用力を確認しています。答えだけでなく、その導出過程についても、指定された欄に簡潔に記述することが求められます。